

史料集『野崎観音慈眼寺文書』完結記念展

野崎観音信仰の広がりと 大塩平八郎門下の豪農

2024
4/13(土)
～
5/26(日)

大東市立歴史民俗資料館

〒574-0015 大阪府大東市野崎 3-6-1
大東市立歴史とスポーツふれあいセンター内

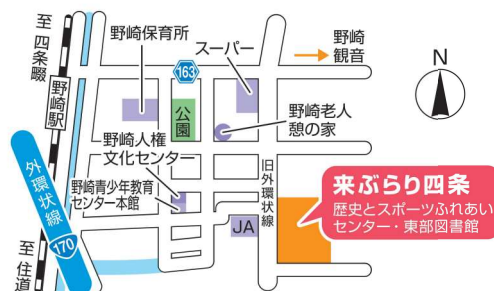
開館時間：午前9時30分～午後7時30分

休館日：第1・第3火曜日（祝日の場合は翌日）

入館料：無料

電話：072-876-7011 F A X：072-876-7702

H P：https://rekisupo.com



次田郡土・山城屋三右衛門寄進灯籠
(慈眼寺蔵)

JR学研都市線 野崎駅
東口から徒歩約10分

主催：大東市立歴史民俗資料館、大東市

新出を含む初公開の史料を多数展示！

「野崎まいり」で知られる福聚山慈眼寺は、「野崎観音」の名称で親しまれ、古来より広く信仰を集めてきました。当館ではこれまでも、慈眼寺及び野崎まいりの歴史、お染・久松、伽藍の変遷、本末関係などに焦点を当てた展示を行ってきましたが、史料集『野崎観音慈眼寺文書』の刊行が完結することを記念して実施する本展示では、野崎観音を信仰する「人々」の側に注目します。

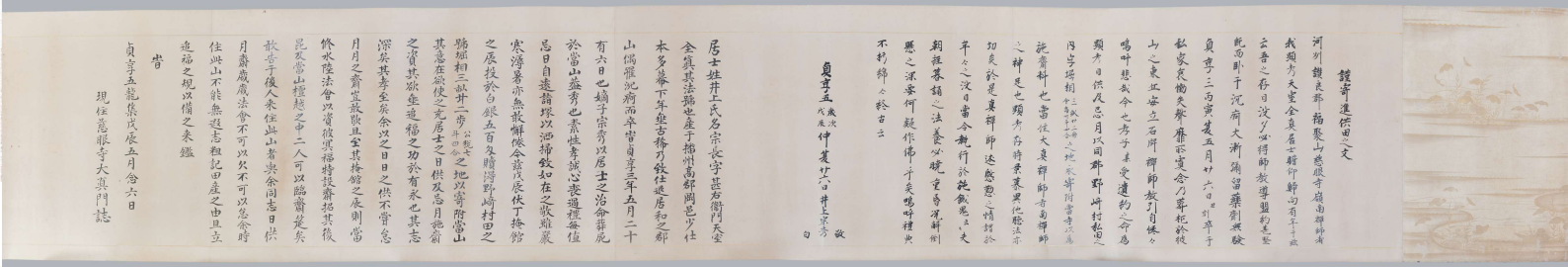
展示前半では、野崎観音に帰依する人々による寄進行為を主なテーマに、“どこに住む”、“どんな身分の人”から、“どういった物”が慈眼寺にもたらされたのか。多様な信仰の在り方に迫ることで、江戸時代における野崎観音信仰の広がりを見ていきます。

後半では、より具体的な事例として、河内国門真三番村の豪農「茨田氏」を取り上げます。茨田氏は、天保8年(1837)の「大塩平八郎の乱」に加担した11代当主の郡士栄信を輩出したことで知られ、慈眼寺とのつながりを示す複数の記録・伝承が残されています。近年本堂から新たに発見された茨田家当主による寄進物をはじめとして、歴代当主と慈眼寺の関係について紹介します。

本展示が、近世における野崎観音信仰の実態に触れていただく機会になれば幸いです。



1



展示関連事業

○担当学芸員による展示解説・慈眼寺境内の案内

令和6年4月28日(日)午後2時～4時

定員:先着20名 参加料:無料 申込み:4月3日(水)より電話または来館で

○展示関連講演会①「野崎観音信仰の広がり」

令和6年5月11日(土)午後2時～4時

講師:岡村 喜史氏(大東市史編纂委員)

場所:大東市立歴史とスポーツふれあいセンター4階 多目的室1

定員:先着50名 参加料:無料 申込み:4月17日(水)より電話または来館で

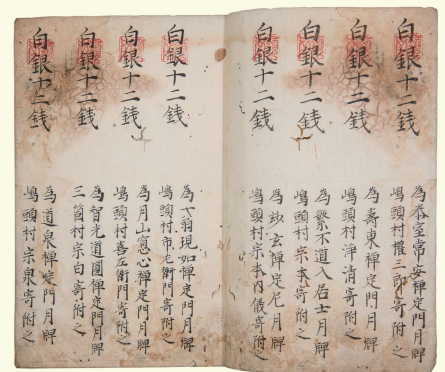
○展示関連講演会②「大塩平八郎と門人たち」

令和6年5月18日(土)午後2時～4時

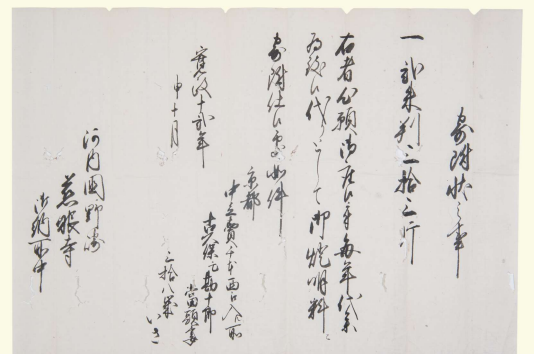
講師:常松 隆嗣氏(門真市立歴史資料館)

場所:大東市立歴史とスポーツふれあいセンター4階 多目的室1

定員:先着50名 参加料:無料 申込み:4月17日(水)より電話または来館で



3



4

1. 「茨田家位牌」
2. 「井上宗秀田地寄進状及び賛」
3. 「福聚山慈眼禅寺祠堂料帳」
4. 「灯明料寄附状」(全て慈眼寺蔵)